

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年11月19日 (2009.11.19)

【公開番号】特開2009-67891(P2009-67891A)

【公開日】平成21年4月2日 (2009.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-013

【出願番号】特願2007-237859(P2007-237859)

【国際特許分類】

C 0 8 L 51/08 (2006.01)

C 0 8 K 5/5435 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 175/04 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 51/08

C 0 8 K 5/5435

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 175/04

C 0 9 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月1日 (2009.10.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シェル層がカルボキシル基を有するウレタン樹脂 (a 1) からなり、コア層が塩基性窒素原子含有基を有するビニル重合体 (a 2) からなるコア・シェル型樹脂粒子 (A)、加水分解性シリル基またはシラノール基と、エポキシ基とを有する化合物 (B)、及び水系媒体を含有してなり、前記コア・シェル型樹脂粒子 (A) が水系媒体中に分散してなることを特徴とする水性樹脂組成物。

【請求項 2】

前記ビニル重合体 (a 2) が、更に加水分解性シリル基またはシラノール基を有する、請求項 1 に記載の水性樹脂組成物。

【請求項 3】

前記ウレタン樹脂 (a 1) と前記ビニル重合体 (a 2) との質量割合 [(a 1) / (a 2)] が 10 / 90 ~ 70 / 30 である、請求項 1 に記載の水性樹脂組成物。

【請求項 4】

前記ウレタン樹脂 (a 1) が、カルボキシル基含有ポリオールを含むポリオールとポリイソシアネートとを反応させて得られるものである、請求項 1 に記載の水性樹脂組成物。

【請求項 5】

前記ウレタン樹脂 (a 1) の有するカルボキシル基由来の酸価が、10 ~ 50 である、請求項 1 に記載の水性樹脂組成物。

【請求項 6】

前記ビニル重合体 (a 2) が、前記ビニル重合体 (a 2) の全量に対して 10 ~ 700 mmol / Kg の塩基性窒素原子含有基を有する、請求項 1 に記載の水性樹脂組成物。